

科研「多言語重層構造をなすインド文学史の先端的分析法と新記述」

第2回 研究会 記録

(2009年12月19日(土) 13:00~18:00、東京外国語大学・本郷サテライト7F会議室)

参加者：<五十音順、敬称略>

Anja Morhdiak、栗屋利江、石川寛、臼田雅之、太田信宏、北田信、小磯千尋、小松久恵、榊和良、坂田貞二、杉本浄、高橋明、長崎広子、丹羽京子、橋本泰元、萩田博、松木園久子、松村耕光、萬宮健策、三田昌彦、宮本久義、村上明香、山根聡、横地優子、水野善文、釧持孝子 <以上26名>

13:10-14:45 研究報告

1) Anja Morhdiak (Hamburg University, Kyoto University), *Kavikarpa* - *A Patchwork of Poetry* (ネパールで作られたサンスクリット詩の創作手引書)

2) 長崎広子 (大阪大学) 「トゥルシーダース伝説とバクトマール (信者列伝)」

15:00-16:45、17:00-18:05 全体討論

1) 日本南アジア学会第22回全国大会 (2009年10月4日、北九州市立大) の総括 (by 水野、臼田)

2) 2010年度より5カ年計画でスタートする予定の人間文化研究機構 (NIHU) プログラム「現代インド地域研究」(中心拠点：京大) <以下、「拠点研究」>について (資料⑥にもとづく説明 by 水野) (補足説明 by 栗屋利江氏 (外大拠点代表))

- ・全国6拠点のひとつ：東京外国語大学拠点では「文学」が1グループを構成することになるが、メンバーは本科研と大部分重なる。よって、本科研メンバーがそれも視野に入れて作業することになる。ただし、経費の混用を避けることなど、準拠すべき規定に従って、適宜2枚の看板を付け替えながらの作業となる。
→全員一致にて承認。

3) 上記、拠点研究の決起集会 (2009年12月5日、京大) での、暫定的な水野報告について (簡単な報告 by 水野)

- ・ 現代インド研究ということで当然注目することになる「英語文学」に関して、現在の研究動向 (組織、研究者、出版物) など、触手を向けるべき対象の情報提供。
(by 松木園久子氏)

4) 科研としての今後の<活動方針>について (資料④~にもとづき説明 by 臼田雅之氏)

○プロジェクトの目標の確認<学術的成果+一般啓蒙書出版>

- ・『インド文学史の花束』(各言語の文学史の外観をまとめたもの) 出版
- ・各言語の文学史をうって一丸としたインド文学史の可能性を追求

○副次目的 (案)

- ・ 毎年文学史の核となるテーマを設定し、刊行→運営委員会、編集・・・
- ・ 論集とは別にインド文学翻訳叢書・・・
- ・ エッセイをまとめ、刊行

- ・ムシャイラ実行委員会（阪大中心に）
→ガザル、インド諸語の詩、タゴール生誕150年を記念して etc...

○仕事分担（案）

- ・ 5年間のうち最低1回、毎年1巻刊行する『論集』に論考を寄稿する。
- ・ 年2回の全体集會に出席する
- ・ 一度は『論集』あるいは『翻訳叢書』の委員として活動する。
- ・ 各言語別委員会/『文学史の花束』執筆研究グループに所属して活動する。
- ・ インターネットの利用！作業・情報の共有。

『インド文学史の花束』内容

- 概説、機械的なものは避けたい。
- 翻訳・コラムも入れたいが、ページ数を考慮
- 大学生などが対象のハンドブック（副産物としてうまれるのでは？）
- 出版にあたって実現性のあるものを（古典・中世を離すことも）
- インド亜大陸の文学を「通史」に！
- 「通史」は総論として扱ってはどうか
- 映像文化とインド文学
- 何を指すのか、対象の読者は？
- 科研：学術的な成果

5) 実効力推進のための運営委員会の結成を全会一致で承認。

次の6名が選出承認された。

坂田貞二、臼田雅之、高橋明、松村耕光、横地優子、水野善文
具体的な作業の調整をこの委員会でおこない、各メンバーに依頼する。メンバーは委員会からの依頼を原則的に拒否できないこととする。

*この運営委員会は、拠点研究の外大拠点「文学」研究グループ/分担者
石田英明、高島淳、萩田博、太田信宏、水野善文
と、適宜、合同会議を開催し全体の調整をはかることが予想される。

6) 『論集』テーマ案（各言語の横のつながりを意識して）

- ・ 文学と表象（戯曲・芸術・映像文化 etc）
- ・ イラスト・写真入り「世界の文学」のインド文学版
- ・ インド音楽、電子音楽、クラブの音楽（コラボ、フュージョン etc）と関連して。
- ・ 文学と歴史的事件
- ・ 言語と表現・言語遊戯（シャレ etc）・比喩・ことわざ・なぞなぞ

坂田先生からの提言→資料参照

- ・ ラーマ王子の物語
- ・ インドの古典物語
- ・ アマル・チトラ・カター
- ・ 南アジア内の限られた階層・地域で読まれる英語の文学
- ・ 後にアレンジされた、内容が新たに付加された古典
- ・ 作家が何を読んで育ったか。ライン、時代、言語をふまえた作家の文学的環境
- ・ 作家論、作家の生き様
- ・ 翻訳文学
- ・ ノーベル文学賞をとるかもしれないインドの作家特集

- ・ 自伝、自伝的な作品、自己認識・ジェンダー
- ・ 系統、宗派、宗教詩人
- ・ ワークショップ、francesca@SOAS のように
- ・ 出来事と文学
- ・ イスラーム、パンジャーブ
- ・ スィンディー語
- ・ 政治家、演説の際の言葉
- ・ 自伝、自伝文学
- ・ 雑誌、読者投稿
- ・ 文学伝統の吸収と排斥
- ・ 旅行記文学
- ・ 文学と社会、文学の使われ方、文学の担い手、社会的な作用
- ・ 王の語られ方、年代の記述、歴史の担い手→歴史文学
- ・ オリヤー語散文文学、翻訳

6) w i k i p e d i a の利用、w e b の活用：時間の節約&効率的にたくさんの情報を！

→近日中に立ち上げる。

18 : 30 - 21 : 30 懇親会 at 月の宴 本郷三丁目駅前店

22 : 00 - 23 : 10 二次会 at 白糸